

2024 年度 授業評価アンケート

1. 授業評価アンケートについて

2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

(1) 実施方法

(2) 各教員宛通知内容

(3) 授業アンケート結果

①-1 前期授業評価アンケート結果 (1 学年)

①-2 後期授業評価アンケート結果 (1 学年)

②-1 前期授業評価アンケート結果 (2 学年)

②-2 後期授業評価アンケート結果 (2 学年)

1. 授業評価アンケートについて

本学では、授業内容や教育方法の改善における組織的活動の一環として、学生に対する授業評価アンケートを年2回(前期・後期)実施し、その結果を公表することになりました。各担当教員は、アンケート結果を真摯に受け止め、今後の授業改善に役立てています。

つきましては、今回実施した標記アンケートの結果について公表します。

2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

(1) 実施方法

本学では、前期、後期の2回授業アンケートを実施しています。

①前期授業評価アンケートでは、2024年4月1日～2024年7月12日(9月を除く)まで前期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。後期授業アンケートでは、2024年10月1日～2025年1月17日まで後期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。この授業評価アンケートでは、本学1学年、2学年の学生を対象に実施しました。アンケートは無記名回答とし、学生が用紙記入/google formへ入力しました。

2024年度前期 学生による授業評価 (1学年)			
このアンケートは、「学生による授業評価」に関する内容です。 以下の①～③の質問項目に該当する科目5つに○をつけて下さい。			
①	特に理解度の高かった科目を5つ挙げなさい。		
②	特に興味深かった科目を5つ挙げなさい。		
③	特に難度の高かった科目を5つ挙げなさい。		
※通年の科目は後期に確認します。			
		開講 時期	授業内容
			①理解度 ②興味 ③難度
基	ス	ポ	コ
礎	ス	ポ	コ
	医	学	学
	学	用	語
		前	前
		期	期
授業評価アンケート見本 2024年度前期 1学年の例 実施時期・学年により科目変更 ※2024年度は、試験期間の夜間開放および教員による 学習サポート制度に関する項目を追加			
() 良かった () どちらともいえない () 利用しなかった			
教員による学習サポート制度(Lサポ)について			
() 良かった () どちらともいえない () 利用しなかった			
講義以外の学院生活について、感想、意見、要望などあれば具体的に書いて下さい。			
(教務部)			
(事務部)			

見本に示します通り、各学年前期／後期に開講された授業科目全体を示し、①理解度の高かった科目、②興味深かった科目、③難度が高かった科目について、それぞれに該当する科目5つに○をつけてもらう事としました。

また、講義の感想、意見、要望、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度等について、自由記載による回答としました。

(2) 各教員宛通知内容

各教員は、自分が担当する授業アンケートの結果について、全ての内容を確認します。

(3)

①-1 前期授業評価アンケート結果（1 学年 21 名）

前期 1 学年のアンケート調査は、21 名に対し、前期試験終了後に実施しました。

【前期 13 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難易度
基礎分野	スポーツ科学概論	前期	10	17	1
	医学用語	前期	20	13	0
	運動心理学	前期	7	10	2
	社会活動概論	前期	9	3	1
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	前期	1	0	18
	解剖学Ⅲ	前期	3	1	17
	生理学Ⅰ	前期	5	2	13
	運動学Ⅰ	前期	13	10	6
	運動発達学	前期	15	13	3
	解剖学演習	前期	8	10	15
	リハビリテーション概論	前期	5	6	10
	チーム医療概論	前期	6	10	5
	理学療法評価概論	前期	3	10	12

理解度の高かった科目は、医学用語、運動発達学、運動学Ⅰ、スポーツ科学概論、社会活動概論でした。

興味深かった科目は、スポーツ科学概論、医学用語、運動発達学でした。

難度の高かった科目は、解剖学Ⅰ、解剖学Ⅲ、解剖学演習、生理学Ⅰ、理学療法評価概論でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、その他学校生活について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

- ・高校までとは違い、専門的な内容に面白くもあり、難しかったようですが、わかりやすい授業展開や資料、質問しやすい環境等に少しずつ慣れたようです。
- ・授業のグループワークでは、吸収できることが多く、視野が広がり、実技を通して身についたことも多かったようです。
- ・小テストにも肯定的な意見が多く、補習などで理解度が上がったようです。
- ・反面、難度の高さや授業スピードの速さについて、改善を求める意見もありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(86%) ・どちらともいえない(0%) ・利用しなかった(14%)】

- ・8割以上の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。
- ・自宅では集中できず学校では集中できること、先生に質問しやすいこと、皆で共有しあえたことなど肯定的な意見が多かったです。
- ・利用しなかった学生は、人がいたら勉強できないなどの意見もありました。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(81%) ・どちらともいえない(5%) ・利用しなかった(14%)】

- ・自分で復習して分からない時に教えてくれ、対策用の資料提示や確認問題出題など学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が8割いました。
- ・反面、チームの組み方変更や教授方法の差に、改善を求める意見がありました。
- ・どちらともいえない学生や度を利用しなかった学生が2割いました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

- ・教務部には、わからない事への即時対応や困った事や悩んでいる時に話を聞いてくれた事に感謝している意見がありました。
- ・事務部には、学費や奨学金の事を分かりやすく説明してくれた事や日常的な施設管理など感謝の意見がありました。

①-2 後期授業評価アンケート結果（1 学年）

後期 1 学年のアンケート調査は、google form への入力回答とし、19 名に対し後期試験終了後に実施し、18 名より回答がありました。

【後期 20 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基礎分野	身体哲学概論	通年	0	1	11
	脳科学概論	後期	2	7	5
	医学英語	後期	12	4	2
	発達心理学	後期	0	4	8
	人間発達学	後期	1	3	12
	日常生活動作概論	後期	6	4	1
	保健体育	通年	8	4	0
専門基礎分野	解剖学Ⅱ	後期	1	2	11
	解剖学Ⅳ	後期	3	2	6
	生理学Ⅱ	後期	5	4	0
	運動学Ⅱ	後期	3	7	6
	病理学概論	通年	1	4	7
	解剖生理学演習	通年	6	5	2
	リハビリテーション医学	後期	12	6	0
専門分野	運動療法概論	通年	2	6	4
	物理療法概論	後期	2	5	10
	理学療法評価学Ⅰ	後期	6	4	3
	理学療法評価学Ⅱ	通年	6	7	1
	理学療法評価学Ⅲ	後期	7	6	2
	障害者スポーツ学	通年	7	6	0

・理解度の高かった科目は、医学英語、リハビリテーション医学、保健体育、理学療法学Ⅲ、障害者スポーツ学でした。

・興味深かった科目は、脳科学概論、運動学Ⅱ、理学療法評価学Ⅱ、リハビリテーション医学、運動療法概論、理学療法評価学Ⅲ、障害者スポーツ学でした。

・難度の高かった科目は、人間発達学、身体哲学概論、解剖学Ⅱ、物理療法概論でした。

【自由意見について】

後期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、その他学校生活について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

- ・前期にある程度の知識をつけ、友達と確認し、共有しながら、後期の授業内容が理解しやすくなった意見が複数ありました。
- ・どの先生も根気強く、分かりやすく教えて下さり、この1年間で随分と知識量や勉強量が増え、テスト期間のみではなく日々取り組みたいなどの意見もありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(83%) ・どちらともいえない(0%) ・利用しなかった(17%)】

- ・全体の 8 割の学生が夜間開放時間を利用し後期試験対策として学内を利用しており、自宅より効率的など肯定的な意見がありました。
- ・どちらともいえないと回答した学生達は、自宅学習を優先し、学校を利用していないという意見が多かったです。

【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

- ・勉強で悩んでいる時に話を聞いてくれた事に感謝している意見がありました。
- ・2年生でも体育がしたいという意見もありました。

②-1 前期授業評価アンケート結果（2 学年）

前期 2 学年のアンケート調査は、17 名に対し、前期試験終了後に実施しました。

【前期 17 科目について】

		開講	授業内容		
		時期	①理解度	②興味	③難易度
専門基礎分野	生理学Ⅲ	前期	8	11	4
	運動学Ⅲ	前期	9	7	3
	運動学Ⅳ	前期	10	10	5
	リハビリ内科学	前期	5	3	11
	リハビリ整形外科	前期	5	8	5
	リハビリ栄養・薬理学	前期	8	7	4
専門分野	理学療法評価学Ⅳ	前期	11	3	2
	関節機能障害理学療法学	前期	5	5	6
	一般外傷理学療法学	前期	3	4	12
	脳障害理学療法学Ⅰ	前期	3	3	9
	呼吸器障害理学療法学	前期	6	4	12
	循環器障害理学療法学	前期	2	7	11
	物理療法学	前期	5	9	11
	装具学	前期	10	8	1
	日常生活動作学	前期	6	7	6
	地域リハビリ学Ⅰ	前期	7	8	1

・理解度の高かった科目は、理学療法評価学Ⅳ、運動学Ⅳ、装具学、運動学Ⅲ、リハビリテーション栄養・薬理学、生理学Ⅲでした。

・興味深かった科目は、生理学Ⅲ、運動学Ⅳ、物理療法学、リハビリテーション整形外科、装具学、地域リハビリテーション学Ⅰでした。

・難度の高かった科目は、一般外傷理学療法学、呼吸器障害理学療法学、リハビリテーション内科学、循環器障害理学療法学、物理療法学でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、その他学校生活について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

- ・講義が分かりやすく良かった意見、難しくて大変だった意見、講義内容や方法についての意見などがありました。
- ・講義内容や方法について、グループ活動やコミュニケーションを取り入れた方法の活用やオンライン授業方法の検討など改善を求める意見がありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(57%) ・どちらともいえない(10%) ・利用しなかった(33%)】

- ・全体の6割弱の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。
- ・具体的には、学校では集中しやすく、友達と集中できた等の意見が多く、夏場は特に涼しく勉強できて良かったという意見もありました。
- ・どちらともいえない学生、利用しなかった学生が4割と例年より若干多かったです。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(76%) ・どちらともいえない(14%) ・良くなかった(10%)】

- ・わからない内容について、聞きやすく、分かるまで教えて下さり、以前より理解できる内容が増えた等、全体の8割弱の学生が、肯定的に捉えていました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

- ・教務部には、学生に寄り添った指導へ感謝する意見がありました。

②-2 後期授業評価アンケート結果（2 学年）

後期 2 学年のアンケート調査は、google form への入力回答とし、18 名に対し後期試験終了後に実施し、18 名より回答がありました。

【後期 19 科目について】

		開講	授業内容		
		時期	①理解度	②興味	③難易度
専門基礎分野	生 理 学 IV	後期	4	5	3
	リ ハ ビ リ 神 経 学	通年	4	9	5
	救 命 救 急 ・ リ ス ク 管 理 学	後期	11	8	1
	精 神 医 学	後期	3	6	8
	老 年 病 学	通年	1	2	3
	運 動 学 演 習	通年	4	7	8
専門分野	理 学 療 法 評 価 学 V	後期	6	6	2
	理 学 療 法 評 価 学 演 習	通年	4	0	2
	ス ポ ー ツ 外 傷 理 学 療 法 学	通年	7	8	0
	末 梢 神 経 障 害 理 学 療 法 学	後期	9	4	2
	脊 髄 障 害 理 学 療 法 学	後期	5	8	15
	脳 障 害 理 学 療 法 学 II	後期	0	2	7
	脳 障 害 理 学 療 法 学 III	後期	5	4	5
	小 児 理 学 療 法 学	後期	1	8	11
	義 肢 学	通年	2	3	7
	運 動 療 法 技 術 学	後期	8	3	2
	認 知 神 経 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学	後期	0	3	9
	地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 II	通年	6	2	0
	生 活 環 境 論	後期	6	3	0

・理解度の高かった科目は、救命救急・リスク管理学、末梢神経障害理学療法学、運動療法技術学、スポーツ外傷理学療法学でした。

・興味深かった科目は、リハビリ神経学、救命救急・リスク管理学、スポーツ外傷理学療法学、末梢神経障害理学療法学、小児理学療法学でした。

・難度の高かった科目は、脊髄障害理学療法学、小児理学療法学、認知神経リハビリ学、精神医学、運動学演習でした。

【自由意見について】

後期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、その他学校生活について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

- ・より専門的な科目となり、難度も高かったですが、興味深い内容や実習で必要な知識などを学ぶ事ができたという意見がありました。
- ・反面、内容が難しい科目や複数担当科目のテスト対策の大変さなどを感じる学生もいました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(45%) ・どちらともいえない(11%) ・利用しなかった(44%)】

- ・全体の5割弱の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。
- ・具体的には、学校では集中しやすく、すぐに質問できる環境など意見がありました。
- ・どちらともいえない学生、利用しなかった学生が5割強と例年より多かったです。

【後期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

- ・特記なし